

第10回目のチャレンジスクールは、「ペーパークラフト」に挑戦しました。六角形の小物入れを3個製作することに挑戦です。渡辺とし子様の指導を参考に取組みました。

今年は昨年同様、学年に応じて制作方法を変えてみました。

子どもたちは、どうしても接着剤をつけすぎてしまうため、今回は、『竹串の先にボンドを少しつけて組み立てや装飾品をつける』ことを学びました。



1、2年生は、概ね出来上がっている箱に装飾をすることが中心です。多くの色があつたため、選ぶことも大変な作業でした。型押しやシールなどでいろいろなデザインを自由に貼り付けていました。細かい作業でしたが、竹串の先に適量のボンドを上手につけて貼り付けることができました。

3年生は、切り取られている紙を組み立てるところからスタートしました。ほとんど間違えることもなく上手に組み立てることができました。



4、5、6年生は、切られている型紙に目打ちで紙に跡をつけて折りやすくするところから行いました。少々難しかったようです。大人が予想していなかったような装飾をする子どもたち。いつもながら感心させられます。

一人ひとりが世界で一つしかないオリジナルの小箱を作り上げ、満足そうな様子でした。

